

『日本医科大学多摩永山病院眼科における 5 年間の内眼炎患者の統計的観察』

2018 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに当科眼炎症外来で眼炎症疾患と診断された患者さん

研究協力をお願い

日本医科大学多摩永山病院眼科では「日本医科大学多摩永山病院眼科における 5 年間の内眼炎患者の統計的観察」という研究を行います。この研究は、2018 年 4 月 1 日より 2023 年 3 月 31 日までに当科にて、眼炎症疾患と診断された患者さんの診断結果、検査、治療を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

研究課題名：『日本医科大学多摩永山病院眼科における 5 年間の内眼炎患者の統計的観察』

研究予定期間：倫理委員会承認日～2024 年 12 月 31 日

調査対象期間：2018 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

研究責任者：日本医科大学多摩永山病院 眼科 堀 純子

(2) 研究の意義、目的について

ぶどう膜炎は眼内に炎症を生じる疾患であり様々な原因疾患があるとされています。昨今の検査や治療の進歩により以前までは病型分類が不能であったぶどう膜炎の診断や生物学的製剤による治療が可能となってきています。早期の確定診断により適切な治療を開始することで視力予後の向上にもつながり、最新の疾患動向を明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について (研究に用いる試料・情報の種類)

2018 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日に日本医科大学多摩永山病院眼科にて、眼炎症疾患と診断された全ての患者さんを対象に下記項目を診療録ベースで解析します。この研究は、患者さんの以下の情報を用いて行われます。

情報：年齢、性別、眼炎症疾患名、眼炎症疾患に伴う緑内障の有無、炎症タイプ (肉芽腫性、非肉芽腫性)、炎症の局在、薬剤使用の有無 (免疫抑制剤点眼、免疫抑制剤内服、ステロイド内服、生物学的製剤とその種類、ステロイドテノン嚢下注射、ステロイド結膜下注射)、期間内の線維柱帯切除術施行の有無、背景疾患、観察期間、前房水 PCR、HLA 検査

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (文部科学省・厚生労働省)」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

担当者：眼科 須賀 亮太

日本医科大学多摩永山病院 倫理委員会事務局

〒206-8512 東京都多摩市永山 1 丁目 7-1

電話番号：042-371-2111 (代表) 内線：2302

メールアドレス：nagayama-chiken_center@nms.ac.jp